

みずほフィナンシャルグループ平成13年度の事業実績

新サービス・戦略プロジェクト(平成13年度トピックス)

保険窓販開始

平成13年4月より取り扱いを開始した「みずほ住宅ローン用火災保険」は、広く一般に普及している住宅総合保険に比べて補償範囲が広い等の特徴があり、平成13年度で2万件強のご加入をいただいています。また同時に、住宅ローン関連の債務返済支援保険やインターネットと自動販売機(一部店舗に設置)を通じた海外旅行保険の取り扱いも開始しました。今後もみずほ銀行を中心に、取扱商品・サービスを一層拡充していきます。



みずほファンドコレクション

特徴豊かな投資信託全24ファンドを「みずほファンドコレクション」として、みずほ銀行の全国本支店で販売しています。あらゆるお客さまのニーズにお応えできるよう、バラエティーに富んだ充実のラインアップです。

	債券	バランス	株式	
国内	DLIBJ公社債オープン(短期コース)	富士スリーウェイオープン	株式インデックスファンド225	富士TOPIXオープン
	DLIBJ公社債オープン(中期コース)	第一勧業 日本バランス	第一勧業 日本株式	リサーチ・アクティブ・オープン
			DL日本株式オープン(技あり一本)	富士日本成長株オープン
			ディープバリュー株オープン	DIAM成長株オープン(出世株)
海外	DKBモルガン プライム・インカム	バランス物語	IBJ ITMジャパン・セレクション	DKA株式オープン
	グローバル・ボンド・ポート	DKBモルガン インカム・アドバンテージ		
	富士USインカムオープン	パスカル GS・グローバル・バランス・オープン	DKBモルガン グローバル50	富士グローバル・アクティブ・オープン
		DKBモルガン グローバル・バランス・オープン		

コンビニATM

首都圏・関西圏・中部圏を中心とする全国21都府県の提携コンビニエンスストア(ファミリーマート、サークルケイ、サンクス、ミニストップ、スリーエフ、コミュニティストア等)の店内に約4,000台のATM(E-netマークのあるATM)を設置しており、今後、5,000台を目指し設置店舗・地域を拡大していく計画です。

また、ローソンへの設置等、今後さらなるATMネットワークの拡充により、お客さまの利便性向上に努めます。

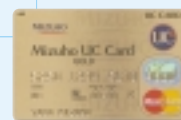
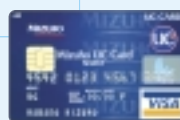


カード戦略

平成14年4月、当グループの直系クレジットカード会社3社(第一勧銀カード、富士銀クレジット、興銀カードサービス)は、「ユーシーカード」と事業統合しました。

新会社「ユーシーカード」は、当グループにおける総合クレジットカード会社として、グループ内外のチャネルに対し、積極的に事業展開をしていきます。

事業統合にあわせ、ICチップを搭載した「みずほUCカード」を新規に発行しており、今後もお客さまにとって安全で、利便性の高いサービスを提供していきます。



マルチペイメントネットワークを活用したサービス「Pay-easy(ペイジー)」開始

当グループは官民共通の新決済インフラ「マルチペイメントネットワーク」の構築においてその中心的役割を担って推進しています。平成13年10月、富士銀行はこのマルチペイメントネットワークを活用し、パソコン・携帯電話・ATM等で公共料金・税金・国庫金等さまざまな料金の支払いができるサービス「Pay-easy(ペイジー)」を、日本で初めて、まず、NTTドコモグループと開始しました。

平成14年4月より、みずほ銀行として同サービスを提供していますが、平成15年度中には税金・国庫金のお取り扱いも開始する予定です。また今後は、印鑑や申込書なしで口座振替登録ができるサービス等、支払いに関する利便性の向上を目指していきます。



コミュニケーションマーク「Pay-easy(ペイジー)」

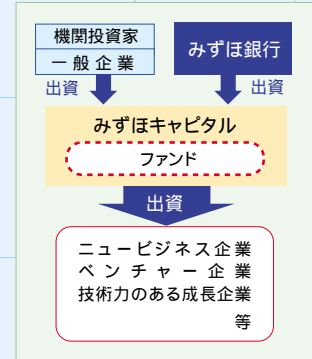
ベンチャー企業の支援・育成（みずほキャピタル発足）

みずほフィナンシャルグループでは、21世紀を担うニュービジネス企業、ベンチャー企業、技術力のある成長企業を発掘・支援するベンチャーキャピタル業務を戦略業務と位置づけ、積極的に推進しています。

たとえば、平成12年5月に3行の共同出資により設立した、国内最大級の投資ファンド「みずほベンチャーファンド」からのベンチャー企業への投資額は、平成14年3月末現在、合計265件、約65億円に達しています。

平成14年4月には、3行のベンチャーキャピタル（東京ベンチャーキャピタル、富士銀キャピタル、興銀インベストメント）の経営を統合し、銀行系ではトップ、国内でも有数のベンチャーキャピタルである「みずほキャピタル」を設立しました。

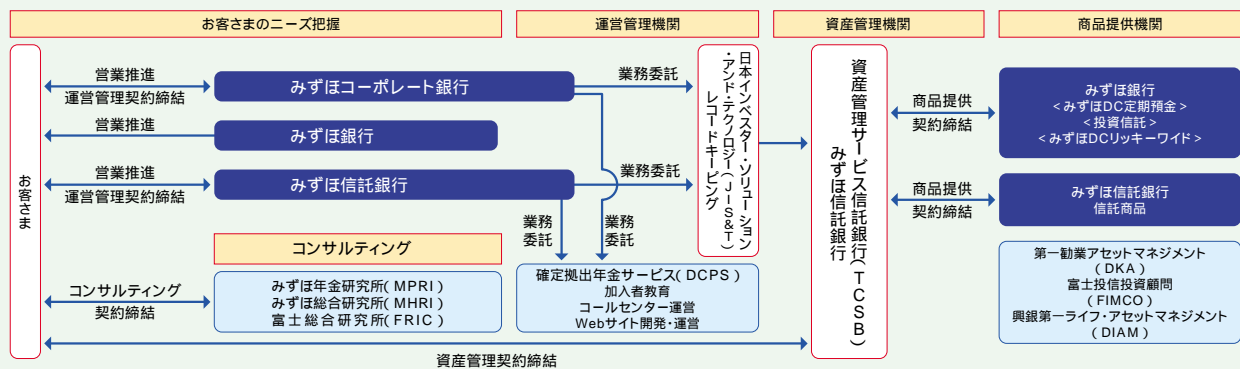
当グループは「みずほキャピタル」を戦略会社と位置づけ、グループ各社と有機的に連携させ、ベンチャー企業の支援・育成に積極的に取り組みます。



確定拠出年金事業に参入

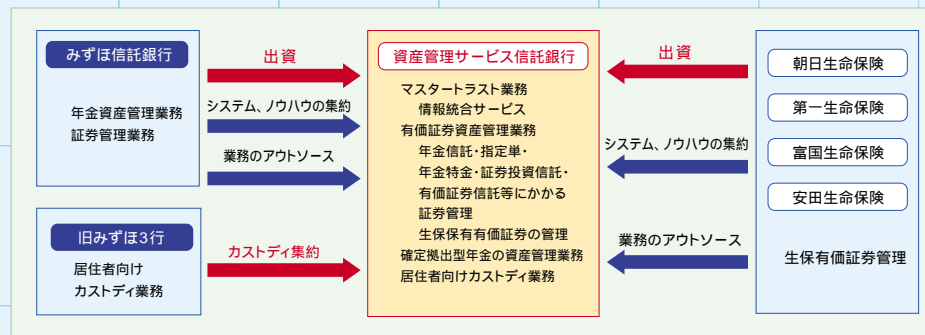
平成13年10月の法令の施行にあわせ、確定拠出年金業務を開始しました。個人の老後生活のための資産形成をサポートし、企業の経営課題に関するソリューションを提供するため、「確定拠出年金のフロントランナー」として取り組んでいきます。なお、確定拠出年金向けの投資信託については、販売手数料を徴収しない方針を決めています。

確定拠出年金ビジネス



資産管理サービス信託銀行、出資各社の資産管理業務を集約

「資産管理サービス信託銀行」では、マスタートラスト情報統合サービスの提供と親密生保4社（朝日生命保険・第一生命保険・富国生命保険・安田生命保険）の保有する有価証券の管理業務を順次開始し、平成13年12月には、約30兆円のみずほ信託銀行の資産管理業務の移管を完了しました。また、平成14年3月には第一勧業銀行、富士銀行、日本興業銀行の居住者向けカスタディ業務を集約し、生保4社からお預りした有価証券管理とあわせて預り資産規模は80兆円強に達しています。



Identrus電子認証サービス開始

企業間電子商取引における認証サービスを提供することを目的に、世界の主要金融機関が出資・参加するコンソーシアム「Identrus（アイドントラス）」の仕様に基づく電子証明書の発行・管理業務を開始しました。

あわせて、安全な企業間電子商取引の実現を支える認証基盤上に、決済や与信の機能を付加するアプリケーションの開発も進めています。

事業実績ハイライト

みずほフィナンシャルグループは、金融サービスのさまざまな分野で、国内トップクラスの実績をあげています。

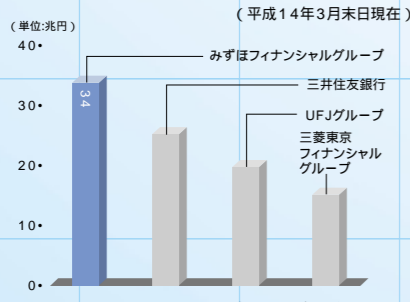
家計の金融ニーズにお応えする

- 個人預り資産残高 35兆円(邦銀第1位)
- 個人ローン残高 12.5兆円(邦銀第2位)
- 居住用住宅ローン残高 9兆円(邦銀第1位)
- 会員制サービス 契約者数 643万人(邦銀第1位)
- いずれも平成14年3月末日現在
- 遺言信託 受託件数残高 8,909件(業界第1位)平成14年3月末日現在
- デビットカード加盟店における 利用実績 1,100億円(邦銀第1位)平成13年度
- インターネットバンキング 利用者数 91万人 平成14年3月末日現在
- テレホンバンキング 利用者数 282万人 平成14年3月末日現在
- 国内有人拠点 664 国内無人拠点(自行・コンビニATM設置カ所)約 5,000 (国内最大級の店舗ネットワーク)平成14年4月1日現在(みずほ銀行)

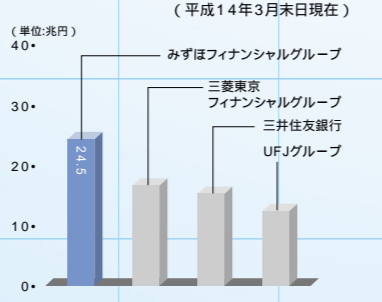
法人の金融ニーズにお応えする

- 中小企業向け貸出残高 34兆円(邦銀第1位)平成14年3月末日現在
- 大企業向け貸出残高 24.5兆円(邦銀第1位)平成14年3月末日現在
- 国内シンジケートローン 組成実績 407億米ドル、シェア44%(邦銀第1位)平成13年1月~12月
- 公募債代表受託 受託金額 3.2兆円(邦銀第1位)平成13年度
- 金利/通貨スワップ 契約額 534兆円/21兆円(邦銀第1位)平成14年3月末日現在
- 国内普通社債(SB) 主幹事関与額 8,548億円(業界第3位)銀行債・自己募集・個人債を除く平成13年度
- 財投機関債 主幹事関与額 1,745億円(業界第1位)平成13年度
- 国内資産担保証券(ABS) 主幹事関与額 2,002億円(業界第1位)平成13年度
- 国内不動産証券化 証券化金額 1,975億円(業界第1位)平成13年度

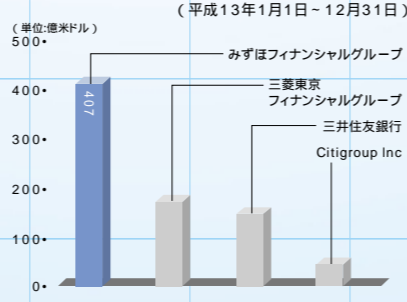
中小企業向け貸出残高



大企業向け貸出残高



国内シンジケートローン組成実績



海外主要マーケットを全てカバーする75拠点のネットワークでグローバルビジネスを支える

- 非日系取引先 約 4,500社 平成14年3月末日現在
- 海外優良企業ランキング「フォーチュン500」
- カバー率 約 70% 平成14年3月末日現在
- 在外支店貸出残高 9兆円 平成14年3月末日現在
- グローバルシンジケートローン アレンジャー実績 672億ドル、488件(邦銀第1位)平成13年1月~12月
- グローバルプロジェクトファイナンス アレンジャー実績 32億ドル(邦銀第1位)平成13年1月~12月
- 外国人投資家保有円カस्टディ預り資産残高 シェア45%(邦銀第1位)平成14年3月末日現在
- 外為円決済 受託件数 シェア32%(邦銀第1位)平成14年3月末日現在

グローバルシンジケートローン アレンジャー実績 (金額ベース) (平成13年1月1日~12月31日)

順位	証券会社名	金額 (百万USD)
1	JP Morgan	252,196.0
2	Citigroup/Salomon Smith Barney	222,360.6
3	Bank of America	215,275.4
4	Deutsche Bank	86,059.9
5	みずほフィナンシャルグループ	67,171.8
6	BankOne	66,140.2
7	Barclays Capital	63,562.2
8	ABN AMRO	49,810.1
9	BNP Paribas	46,618.7
10	FleetBoston	46,142.8
11	Wachovia Bank	44,304.4
12	東京三菱銀行	44,204.8
13	CSFB (Credit Suisse First Boston)	39,921.4
14	Bank of Nova Scotia	38,074.8
15	Commerzbank	37,303.9
16	RBS (Royal Bank of Scotland)	34,850.0
17	HSBC (Hongkong Shanghai Banking Corp.)	33,663.9
18	三井住友銀行	27,639.8
19	Bank of New York	25,797.5
20	Westdeutsche Landesbank	25,233.9

グローバルプロジェクトファイナンス アレンジャー実績 (金額ベース) (平成13年1月1日~12月31日)

順位	証券会社名	金額 (百万USD)	件数
1	Citigroup	15,512	54
2	Westdeutsche Landesbank	8,235	27
3	BNP Paribas	6,429	21
4	Societe Generale	5,301	17
5	CSFB (Credit Suisse First Boston)	4,742	8
6	JP Morgan	4,333	18
7	Dresdner Kleinwort Wasserstein	4,038	17
8	ABN AMRO	4,019	19
9	Deutsche Bank	3,623	14
10	Barclays Bank	3,612	18
11	みずほフィナンシャルグループ	3,187	20
12	IntesaBci	2,621	5
13	Bank of America	2,282	13
14	Credit Lyonnais	2,019	12
15	Royal Bank of Scotland	1,911	16
16	Skandinaviska Enskilda Banken	1,582	2
17	東京三菱銀行	1,573	11
18	Australia and New Zealand Banking Group	1,532	12
19	Santander Central Hispano	1,465	10
20	Credit Agricole Indosuez	1,366	10

- 日系M&A(公表ベース) 仲介実績 82件(業界第1位)、283億ドル(業界第2位)平成13年1月~12月
- ベンチャーキャピタル 投資残高 603億円 (銀行系ベンチャーキャピタル第1位)平成14年3月末日現在
- 投資顧問 契約資産総額 8.5兆円(業界第3位)平成13年12月末日現在
- 投資顧問 国内年金資産残高 5.1兆円(業界第2位)平成13年12月末日現在
- 債権流動化 流動化金額 2.8兆円(業界第1位)平成14年3月末日現在
- 退職給付信託 受託残高 1.6兆円(業界第1位)平成14年3月末日現在

国内資産担保証券(ABS)リーグテーブル(平成13年度) 主幹事関与額ベース:発行総額5,495億円

順位	証券会社名	主幹事関与額 (億円)	主幹事シェア (%)
1	みずほ証券	2,002	36.42
2	大和証券エスエムビーシー	1,011	18.39
3	UFJキャピタルマーケット証券	711	11.79
4	野村証券	563	10.24
5	ドイツ証券	489	8.90
6	ゴールドマン・サックス証券	388	7.05
7	日興ソロモン・スミス・バーニー証券	146	2.66
8	クレディスイスファーストボストン証券	63	1.14
8	メリルリンチ証券	63	1.14
8	モルガン・スタンレー証券	63	1.14

国内普通社債(SB)リーグテーブル(平成13年度) 主幹事関与額ベース(銀行債、自己募集、個人債を除く)発行総額54,745億円

順位	証券会社名	主幹事関与額 (億円)	主幹事シェア (%)
1	野村証券	11,828	21.61
2	大和証券エスエムビーシー	10,045	18.35
3	みずほ証券	8,548	15.61
4	日興ソロモン・スミス・バーニー証券	7,648	13.97
5	東京三菱証券	4,428	8.09
6	ゴールドマン・サックス証券	3,350	6.12
7	モルガン・スタンレー証券	1,950	3.56
8	UFJキャピタルマーケット証券	1,682	3.07
9	新光証券	1,268	2.32
10	メリルリンチ日本証券	1,000	1.83